

絵本の読み聞かせプロジェクト

— 中学生による小学生への絵本の読み聞かせ —

大阪精神医療センター分教室

1 はじめに

本分教室には小学生と中学生が在籍しており、異年齢の児童生徒が関わる集団活動をするなかでの学びあいは、児童生徒にとってとても意義のある時間だと思う。例えば、運動会ではリレーで合同チームを作り教員チームと競争したり、学習発表会では共同で作品を制作や舞台発表をしたり、行事での活動がそのひとつだ。また、病棟での昼食後に再登校すると自立活動の時間「わにタイム」が設定されており、水曜日を除く週4回、小学生と中学生が合同で遊びを中心とした活動を行ってきた。

今回、絵本の読み聞かせプロジェクトを始めようと思ったきっかけは次の2つである。

- ①小学生は1時間目に週4回5～10分程度の絵本タイムがあり、教員が読み聞かせをするときがあり、児童はとても興味深く聞き入る様子を幾度となく見てきた。
- ②自立活動の時間に、中学生が小学生に優しい声かけすることで、活動に消極的だった小学生が活動に参加できるようになった。また、不登校経験の多い中学生が、小学生と楽しく笑顔で遊ぶ様子が散見された。

そこで、中学部の自立活動の時間に、小学生への絵本の読み聞かせを軸にして自主性や対話性を重視した取り組みを行った。本稿において報告したいと思う。

2 絵本読み聞かせプロジェクト

(1) 概要

中学部の生徒が小学部の教室に訪問し、絵本の読み聞かせを行う活動を行った。自立活動の時間に、以下の内容を行い読み聞かせ本番までの準備を進めた。

- ・小学生がどのような絵本を読んでいるのかを調べるアンケート内容の検討
- ・アンケート配布の練習
- ・アンケート配布
- ・トラブル対処の練習
- ・絵本読み聞かせ練習

(2) 活動内容・計画

| | 活動内容 | 目的 |
|---|---------------------------|-----------------------------------------------------------------|
| 1 | アンケート内容の決定 | 小学生はどのような絵本を読んでもらいたいと思っているのかを調査するためのアンケート内容を考える。 |
| 2 | アンケート配布の流れ確認 トラブルへの対処法 | 小学部の教室を訪問し、アンケートを配布・回収するまでの一連の流れを確認する。 想定されるトラブルへの対処方法を練習する。 |
| 3 | アンケート配布・回収練習 | 小学部の教室を訪問し、アンケートを配布・回収するまでの一連の流れを練習する。 |
| 4 | アンケート調査 | 実際にアンケートを配布・回収する。 |

I 実践報告

| | | |
|---|------------------------|-------------------------------------------------|
| 5 | アンケート結果発表 絵本読み聞かせ練習 | アンケート結果をもとに決められた読み聞かせの絵本を知る。 絵本を読み聞かせる練習をする。 |
| 6 | 絵本読み聞かせの流れを確認 | 小学部の教室を訪問し、絵本を読み聞かせる一連の流れを確認、練習する。 |
| 7 | 通し練習 | 小学部の教室を訪問し、絵本を読み聞かせる一連の流れを練習する。 |
| 8 | 模擬練習 | 教員に対して絵本の読み聞かせを行い、フィードバックをもらう。 |
| 9 | 本番 | 実際に絵本の読み聞かせを行う。 |

3 中学生の様子

(1) 第1回「アンケート内容の決定」 ～「やりたくない」の声～

「小学部の児童への絵本の読み聞かせプロジェクト」について説明した。「やりたくない」という生徒や、「図書委員で読むの得意やから大丈夫」という生徒など様々な反応があった。

はじめに、読んだことのある絵本の名前を生徒たちが紹介しあった。スイミーやはらぺこあおむしなど有名な絵本を生徒が紹介すると「それ私も読んだ」「あれ泣ける話やんな」などと共感し合う姿が見られた。中には他の生徒が知らない絵本を挙げる生徒もいた。様々な絵本があることを確認し、どのようなアンケート内容にすれば小学生が読んでもらいたいと思っている本を知ることができるのかを話し合った。話し合いの結果「好きな絵本の名前を聞く」「好きな絵本のジャンルを聞く」ことになった。

(2) 第2回「アンケートの仕方の話し合い」 ～小学生の反応を想像するように～

どのようにアンケート配布・回収すべきかを話し合った。生徒の意見を集約した結果、配布・回収だけでなくアンケートの目的説明、協力のお願い、入室の際のあいさつなどが必要との意見が出た。

また、アンケート配布の際に想定されるトラブルへの対処も練習した。どのようなトラブルが起きそうかと教員が尋ねると「質問の意味がわからないとか言う子がいる」「好きな本に漫画入るん？とか聞かれるんちゃう？」などの意見が出た。教員からも「書きたくないっていう子がいるかもしれないね」などと想定される場面を示し、それぞれの場面を実際にロールプレイングしながら対応の練習を行った。

(3) 第3回「台本・役割分担決め」 ～自分のできることをみつけよう～

前回の授業で集約した生徒の意見をもとに、アンケート配布・回収の際に必要なセリフを書いた台本を教員が用意した。その台本をもとに役割を分担して、練習した。

役割分担を決める際に「私は人前で話たくない」という生徒もいた。生徒同士で話し合いながら、話が苦手な子は、扉のノックと「失礼します」の一言だけを担当してもらったり、アンケートの配布・回収係を担当してもらったりするなどして分担をしていた。

(4) 第4回「アンケート調査」 ～「緊張するけど…」～

小学部の教室を訪問し、アンケート配布・回収を行った。訪問前の練習では「緊張する」「嫌や、行きたくない」と弱気になる生徒もいた。ただ、実際に訪問すると練習通り、自分の役割をしっかりと果たすことができていた。「緊張した」「疲れた」「声が小さくなってし

I 実践報告

まった」といった感想も聞かれたが、多くの生徒が笑顔ですっきりした表情だった。

(5)第5回「読み聞かせの練習」 ～どのように読み聞かせるか、話し合おう～

アンケート結果から教員が読み聞かせをする絵本を選択し生徒に伝えた。読み聞かせの方法を話し合う中で「テレビ画面で映す」「効果音をつける」などのアイデアも出たが、最終的には手で絵本をもって読み聞かせる方法を選択した。読み聞かせの役割分担を決める際には、生徒同士で話し合いながら、セリフを分担したり、絵本を持つ役を作ったり、初めの挨拶をしたり、役を作ったりするなどして分担した。

(6)第6回「読み聞かせの練習」 ～イメージしてみよう～

小学部の教室を訪問し、絵本を読み聞かせる一連の流れやセリフを教員がプリントで用意した。アンケート配布・回収などの体験や学習発表会を経験したことで人前での発表に慣れ、人前で話すことが苦手でもセリフを話す役を担うことができた生徒もいた。

(7)第7回「通し練習」 ～課題をみつけよう～

退院する生徒がいたり、新たに加わった生徒がいたりする中で、担当する役割を柔軟に変更しながら練習を進めた。通しでやってみると、どのように絵本を持てばいいのか、ページをめくるタイミングをどうやって合わせればいいのかといった新たな課題が見つかった。生徒同士で話し合いながらよりよい方法を検討しあった。

(8)第8回「通し練習」 ～教員が児童役になっての通し練習。まさにテスト～

教員の前で、入室・絵本読み聞かせ・退室の流れを通して発表した。直前の練習では「緊張する」「ここってこうやればいいんやっけ」と不安になる生徒もいれば、「こうやって読めばいいね」「大丈夫」と余裕を見せる生徒もいた。発表後は教員からポジティブな評価をもらい一安心した様子が見られた。

(9)第9回「本番」 ～いざ、本番～

本番前は「緊張する」「小学部の教室に行きたくない」という生徒が多く、今まで余裕を見せていた生徒も緊張している様子だった。

ただ、教室に訪問してからは、それぞれが自分たちの役割を果たし、しっかりと絵本の読み聞かせをすることができていた。読み聞かせ後に、小学生から「うまかった」「読むの難しいのにすごいと思った」などの感想をもらい笑顔になる生徒もいた。

5 生徒の感想

- ・緊張してすごい嫌だったけど、疲れたけど達成感も凄いし楽しかったです。
しかも、〇〇くんは頑張ろうって気持ちが伝わってきて、頑張ってるんだなって思いました。
- ・自分は経験者なのに、あまり上手にできなかった。〇〇さんは1回目だと思うのに上手だった。〇〇さんはちゃんと声も出ていたので、僕的には100点だと思います。
- ・疲れた。帰りがかった。だるい。
- ・余裕簡単。普通にできた。がんばった。
- ・緊張しました。読むのが早かったと後悔しました。でもすらすら読めました。聞いていただいている子たちに感想言ってもらえました。みんなかわいかった！気遣いができてなかったと後悔しました。
- ・声が小さかったのが悔しかった。途中で先生がサポートしてくれた。子供たちが笑って

I 実践報告

くれたので良かったと思った。

- ・教室に入った瞬間、とても緊張しました。でも読み始めるとすごく楽しかったし、直前まで勉強やっていたこも、絵本のほうに顔を向けて聞いてくれた時はとても嬉しかったです。一緒に読んでいた、〇〇くんもすごく上手に読めていてとても尊敬しました。
- ・うまく読めるか凄く不安だったけれど、思ったよりもすらすら読めたし、めくる時もスムーズに読めて、とても安心しました。終わった後はとても達成感があったし、自分に自信を少し持てるようになりました。

6 おわりに

当初、生徒たちは絵本の読み聞かせにとまどいを感じていたが、アンケートの内容を考えるなどの準備段階で、生徒同士が話し合っ役割を分担し、小学生が見やすく、聞きやすいようにするにはどうすればいいのか考えていた。

そして絵本の読み聞かせをやってみると、生徒たちは普通の授業では味わうことのない緊張を乗り越え、堂々と発表し、達成感を感じていた。

今後も中学部の生徒が主体性をもった小学部の児童と交流する機会を作り、児童生徒が成長していける学校づくりをめざしたい。